

今般第一議案特別委員會ニ於テ今後實查委員
ヨリ報告書ノ提出アリタルトキハ先ツ關係各省ノ意見ヲ
取纏メタル上審議ヲ進ムルコトト相成候ニ付テハ奥羽方
面ニ於ケル別冊實查委員ノ報告書及御送付候條右
ノ中貴省所管ニ屬スル分ニ付貴省ノ御意見至急
御決定ノ上御回報相成度比段及照會候也

大正十一年五月十二日

國有財産調査會幹事長

大藏省臨時國有財産整理部長鈴木

國有財産調査會委員

海軍次官井出謙治殿





報告書

仙臺市、盛岡市、青森市、弘前市、秋田市、山形市及各市附
近所在主要ナル官有財産ニ付実地調査ヲ遂ケ別紙ニ通
及報告候也

大正十年十二月十日

実査委員 伯辭 奥平昌恭

同 澤 末太郎

同 中川 幸太郎

第一議案特別委員長 伯辭 青木信光 殿

一 實 査 箇 所

月 日	箇 所	敷 地 面 積	箇 所	柱
十月十五日	第一師司令部 同該官部 歩兵 第三旅司令部 第二師官部 第二師團經理部 秣倉庫 川内追廻小銃射撃場 諸兵作業場 角五郎町練兵場 仙臺憲兵隊	一五、一二五 四、九五二 四三、〇一四 四四、六一二 二六、〇八八 一、七三三	仙臺市川内大橋通 上 台市川内山屋敷 台市東二番町 仙臺市角五郎町 台市東二番町	上 上 上 上 上 上
十月十四日	宮城縣廳、知事官舎 仙臺逓信局 仙臺郵便局 仙臺鉄道局 仙臺地方專賣局	八七六坪 一、七三二 一、一七六 三、三七一 一、二四四	仙臺市長刀町 台市南町通 上 台市元柳町 台市清水小路 台市東七番町	上 上 上 上 上 上

	十月二十六日 官城控新院 仙臺地方裁判所 院長官舎 横市長官舎 地方裁判所長官舎 同横市上官舎 同豫審判市官舎 東北帝國大學本部及理學部	仙臺衛戍病院 歩兵第四聯隊 陸軍地方幼年學校 官城原練兵場 歩兵第四聯隊作業場	一〇、六六七坪 三、八六七坪 一〇、一八三坪 一五九、六四四坪 一三、一一二坪 四、〇〇六坪 二、二三七坪 一、三五七坪 九七六坪 五八二坪 六〇三坪 四九八坪 六、二五二坪 仙台市東三番町 仙台市榴子園町 上 官城原町南ノ目 上 仙台市比平町 仙台市東二番町 仙台市比平町 上 上 上 上 上 上
--	--	---	---

<p>東北帝國大學工學部 同警察部 官職監獄 同附屬地</p>	<p>一六四六四 三九三〇九 三〇五二八 二八〇二四</p>	<p>仙台市櫻小路、道場小路 仙台市北四番町、北五番丁 仙台市行人塚 仙台市平子</p>
<p>十月二十七日 岩手縣廳、知事官舎 同警察部長官舎</p>	<p>六一三七 三〇一</p>	<p>盛岡市仁王第一地割 上</p>
<p>十月二十日 騎兵第三聯隊 同 第二十聯隊 工兵第一大隊 盛岡衛戍病院 騎兵第三旅團司令部 盛岡各隊用馬糧庫 盛岡練兵場</p>	<p>三三六三七 三一、二一四 一四、三六七 三九六四 一、四一八 三、四四〇 九〇、八七五</p>	<p>岩手縣野川村 上 上 上 上 上 上</p>

十月二十九日	盛岡作業場 同村撃場 同坑道作業場 盛岡騎兵營予國道通過道路敷 盛岡監獄 同附屬地	四八八八 六三九四 一三六三 二七九一 一七九六 七四二七	左 左 左 左 左 左	上 上 上 上 上 上
十月二十九日	岩手種馬所 種馬育成所 盛岡高等農林學校 實際農場其他	三四七 一五五 一五五 一〇五五 七六三	左 左 左 左 左	上 上 上 上 上
十月三十日	軍馬補充部三本木支部	一、二六八 一、二〇〇	上	上
十月三十一日	大湊要港部海軍需用地		下	上
十月一日	青森保安第五聯隊	三九、五七九	左	上

<p>十日</p>		<p>弘前憲兵隊本部 第一師團長官舎 第一師團兵器部倉庫 歩兵第三聯隊 輜重兵第八大隊</p>	<p>弘前作業場<small>(歩兵障子物 飛越場共)</small> 被服倉庫 弘前衛戍監獄 歩兵第五十二聯隊 野砲兵第一聯隊 出師計画用紙<small>(林官)</small> 騎兵第一聯隊 弘前衛戍病院</p>
<p>八〇六 九〇〇 六五、四五四 四〇、二三五 二九、五二六</p>	<p>二一、〇一八坪 五、七四三 三、一六三 三、八七二八 四、五、八九二 五、五、五七 四、四、一〇五 一、七、三、五九</p>	<p>弘前市富田町 左市上白銀町 左市下白銀町 中津經柳清水村 左</p>	<p>左郡牛年村 左 左 左 左郡堀越村 左 左 左郡清水村富田町</p>

	弘前練兵場 館野射撃場及作業場	一三六、二七五 三、八、二六	左 上 左郡千早村
十月五日	秋田縣廳	二、三、三、四、五、六、七、八、九	秋田市東根小屋町
" 六日	秋田糧馬所	四〇、七、二七	仙北郡神宮寺町
" 七日	歩兵第十七聯隊 秋田練兵場 秋田射撃場 丸秋田射撃場	四〇、七、二七 四六、二一九 一六七、九二	秋田市麓池町外三村 左市新町 阿比郡新屋町
	歩兵第十六旅団司令部 秋田衛戍病院	一六四、八 四、三、九、二	秋田市上中城町 左
	秋田作業場 障害物飛越場	六、九、三 六、〇、一、八	左市上杉堀町外四村 左市上中城町
	秋田税務署	一、二、〇、四	左市龜崎塚端町

十月十日		十月十日	
山形聯隊司令部 歩兵第二十五旅団司令部 歩兵第三十二聯隊	山形地方裁判所 山形地方専賣局 同警察部長官舎 山形縣内務部長官舎	軍馬補充部秋野支部 山形縣廳、知事官舎 山形縣内務部長官舎	秋田大林区署 秋田道税 同附屬地 秋田地方裁判所
九九、一四九 一〇〇〇 三〇〇	六六三 五六九 五六九 六七〇	七、九六、一六〇 一三四〇	六七八九 一四、三六四 八五五一 一七二三
全 全 全	全 全 全 全	全 全 全 全	秋田市東根小屋町 南秋田郡川尻村 全 秋田市西根小屋町 最上郡秋野村北村外一町二村

十月十日	宮城種馬所	二九、一八〇	南村山郡菴山村平清水
〃	山形練兵場	四六、三九六	左 上
〃	山形作業場	三八、三五	左 上
〃	山形衛戍病院	四〇、三一	左 上
〃	山形小銃射撃場	二九、一八〇	南村山郡菴山村平清水
十月十日	宮城種馬所	一、四八五三	玉造郡西大崎村
〃	軍馬補充部 萩野支部 嫩充舎 澤森支部	二七、一四六〇	全郡川汲村外三ヶ村
〃	陸ノ平小銃射撃場	二四、八一	宮城郡七北田村
〃	長町軍用停車場	一四、一〇〇	右取郡茂崎村

二、救正理意見要旨

今回調査セルハ仙臺、盛岡、青森、弘前、秋田及山形各市及其附近ノ
官有地主上ニシタル者尚此ノ外市部ヲ遠サカル大湊海軍要港部ニ本末、萩
野西軍馬補充部支部及秋田、宮城西種馬所ノ右敷地ヲ又視察シテ而シ

此等所枉地方ハ東北五縣ニシテ人口稠密ナラス土地ノ利用モ亦集約ナラス
從テ特殊ノ事情ニ依ルモノヲ除キテハ土地ノ不足ヲ告クルモ東京地方ノ如ク急
迫ナラサルヲ以テ今直ニ官用ヲ廢スト雖モ民間ニ於テ官用以上ノ集約利用
ヲ為シ得ルヤハ疑問トセサルヘカラス 然レトモ今田視察箇所比較考査スルニ
左シテ知事官舎敷地ニシテ一、三四坪 ナルアリ 七三一坪ナルアリ 師團司
令部敷地ニシテ一〇〇、〇〇〇坪以上ナルアリ 一〇、〇〇〇坪内外ナルアリ 旅團司令部ニ
シテ一、六四八坪ナルアリ 九〇〇坪ナルアリ 地方裁判所長官官舎敷地ニシテ 五、二坪ナル
アリ 一九九坪ナルアリ 監獄附屬農場ニシテ一、六五九四坪ナルアリ 一、〇五五坪
ナルアリ 廣杖ノ差余リニ大ニシテ一定ノ標準アリテ之ヲ設置シタルモノト認ムル
ヲ得ス 固ヨリ之ヲ設置ニ方クテハ豫算ノ多少買収地ノ形状、與附地ノ大小
等ノ關係存シタルヘシト虽モ後ニ尠大ノ敷地ヲ占用シテ其ノ利用ヲ放漫
ニ委スルハ國家經濟上看過スヘカラサル所ナリ 陸軍省ハ大正九年十一月官
舎及宿舎ノ基準ヲ定メ 左年十一月新築ノ分ヨリ之ヲ実行ヲ命シタルハ

甚其ノ当ヲ得タリト謂フヘシ右官廳ハ其ノ所用地ニ對シ一定ノ標準ヲ定
 ヲ得ヘキモノニ在リテハ此ノ例ニ倣ヒ速ニ之ヲ定メテ実行スヘク又既設ノ
 ノニ在リテ又之ヲ整理シ得ヘキモノハ之ヲ行フヲ至當トス又軍馬補充部
 用地ノ如キ一馬当所要面積ヲ基礎トナセルニ台帳面積ニ依レハ僅ニ六町一
 反歩ナルヲ實測ニ依レハ五十九町ニ反歩ニ達シ殆ント十倍ニ近キカ如キモノア
 リ右官廳所用地現在面積ハ正確ナル實測ニ依リ算出セルモノナリヤ疑フ生
 セサルヲ得ス其ノ未ダ實測セサルモノハ速ニ之ヲ遂ケ正当所要面積ヲ劃定
 スヘキモノト認ム今四実査セル箇所ニ付官廳種別ニ其ノ意見ヲ陳フレハ左ノ如シ

一、縣知事、部長官舎敷地

縣名	知事官舎		内務部長官舎		警察部長官舎	
	敷地	建物	敷地	建物	敷地	建物
宮城縣	八七六	一三九				
巖手縣	一三三	一一四	四〇九	六七	三〇一	一〇七
青森縣	七三一	二〇一	一	一	三〇〇	六七

秋田縣	1	1	490	151	200	70
山形縣	1,340	144	670	127	569	75

以上五縣ニ於ケル知事、内務部長及警察部長官舎ノ敷地及建物ハ其種別ニ依リ右約左ノ坪數ニテ可ナリト認ム然ルニ前記ノ如ク廣狭大少ノ差異ヲ生セルハ概シテ新設當時ノ当局ノ意思ニ依リタルモノニシテ何等標準アリテ設置シタルモノト認ムルヲ得ス更ニ標準ヲ定メテ之ニ準シ新設又ハ整理スルヲ至当トス今田ノ実査意見ハ其ノ場所適当ナラザルヲ故ニ移転セシメントシテ又敷地過大ナルカ故ニ一部ヲ整理セシメントスルニ在リ

縣廳所管官有地

縣名	荒蕪地面積	其ノ他	合計	價格
宮城縣	一六五、〇二五	三、九六九、三一一	三、五六二、四〇六	一、三五、一八三、三七
岩手縣	二三八、〇一四	四、九五九、四〇四	七、五五九、五〇八	三、三〇、五九、九七〇
青森縣	二九五、八六〇	三、〇九九、〇三二	五、六五四、八九二	九、四七、四九、〇〇〇

秋田縣	一〇一八、二八一八	五、四〇一、四〇二	六、四一九、七六二〇	二、一四、三三七、八三〇
山形縣	四、一八九、五三五	三、六四九、七三〇	三、六八三九、二六二七	八、九六、〇一九、七四〇
合計	五、九七六、二〇二六	七、四〇四、三、一〇二	一〇、〇〇九、三、三二七	三、〇二九、三、三一九、七

縣廳所管官有地ハ神社境内地、寺院境内地、荒蕪地ヲ主トスルモ其ノ外寄洲
 温泉地、右勝地、溜池、沼等其ノ種類及面積甚多シ境内地以外ノ分ニ付右
 縣ニ付テカ管理及處分ノ状況ヲ調査シタルモ其ノ管理ハ殆ト放置ノ状態ニ
 在リ處分ニ付テハ出願アル場合ニ於テ之ヲ受理シ貸付又ハ賣拂ヲ為ス
 有様ニシテ之ヲ巡視シ又ハ積極的利用ノ方法ヲ講スルモノナシ是レ内務省ヨ
 リ之ニ要スル經費、配付ナキヲ以テ已ムヲ得サルニ出ヅト謂フ固ヨリ此ノ類雜種
 地ノ管理及處分ハ或ハ收支相償ハサルモノ生シ之ヲ積極的ニ行フト困難事
 情アルニシト虽モ土地利用ノ促進上見レハ廢ト國庫ニ多少ノ損失アル場合
 ニ於テ又適切ナル利用ノ方法ヲ調査シ以テ民有ニ移スヘキモノハ速ニ之ヲ處分セハ
 事務亦簡單トスルニ而シテ官有地ノ保、保有スヘキモノニ付テハ適當ノ管

理ヲ為スヲ至当トス尚右縣ニ於テ此等官有地ノ分類名稱ハ区々ニシテ隨意
 ニ名稱アリ有様十九ヲ以テ宜シク一定名稱トス之ヲ整理スルヲ可トス

三 師團及旅團司令部敷地

師團司令部		旅團司令部	
名稱	敷地	建物	備考
第一師團司令部	一五八、一一五坪	三、一九四	第一旅團司令部其他ノ倉庫
第二師團司令部	一一、六三三	九四一	聯隊司令部ヲ含む
步兵第一旅團司令部	一、〇〇〇	一〇八	第一師團司令部敷地中在リ
步兵第二旅團司令部	一、四八八	一七六	
步兵第三旅團司令部	九〇〇	一〇五	
步兵第四旅團司令部	一、六四八	九五	

敷地坪数ニ於テ廣狭ノ差頗ル大ナリ師團司令部敷地ニ付見レ、第二師團ハ第一師團ノ十倍以上ヲ占メ居レリ是レ第二師團ハ旧城趾ノ一部ヲ占用シ第一師團ハ新ニ買収シタル依ルヘシ又左シテ旅團司令部ニ於テ又步兵第四旅團ノ如キ僅ニ九〇坪ヲ充テタルアリ又第六旅團ノ如ク一、六四八坪ヲ占用セルアリ建物ニ於テ更ニ其ノ更ノ大ナル見ル此等ハ威信ヲ保リ上ニ於テ相当建数ヲ必要トス其ノ過大ニシテ後ニ土地ヲ占用セルニ過キサルモノ又ハ其ノ土地ヲ過當トセサルモノハ移転又ハ整理ノ意見ヲ附シタリ

四聯隊及独立大隊敷地

一聯隊		二聯隊		三聯隊		四聯隊	
名	称	兵營敷地	倉上建物	練兵場敷地	作業場敷地	兵營敷地	倉上建物
步兵第四聯隊		三八六八坪	四九三六坪				
步兵第九聯隊		二、七一一	四、五一一				
野砲兵第二聯隊		二、九五二	六、一〇四	一、八六三 平均三七七	四、五二一 平均九一六		

名称	又	大隊	隊	兵營敷地	倉上建物	練兵場敷地	作業場敷地
騎兵第二聯隊				二七、六四九	三、八九三		
山砲兵第一聯隊				一八、二九一	三、一九〇		
騎兵第三聯隊				三三、六三七	六、二〇三	九〇、二、八七五 一聯隊平均	六二、五二〇 一聯隊平均
騎兵第四聯隊				三一、一一四	五、九二〇	四五、一、四三七	三一、一、三六〇 一聯隊平均
歩兵第五聯隊				三九、五七九	六、五五五	四四、〇、〇四	七、〇、三五
歩兵第六聯隊				四〇、二三五	五、三一〇		
歩兵第七聯隊				三八、七二八	五、六〇五	一三三、五〇二 一聯隊平均	五八、九、九五 一聯隊平均
騎兵第八聯隊				四四、一〇五	四、一三五	三三、三、七五	一四、六、八八 一聯隊平均
野砲兵第八聯隊				四五、八九二	七、二三七		
歩兵第九聯隊				七六、五三〇	四、九七九	四六、三、九六	二、一、三五
歩兵第十聯隊				四〇、七二七	五、八九〇	四六、二、一九	二、九、〇三

工兵第二大隊	一五、〇六七	一、七二四		
輕重兵第二大隊	一六、三二七	三、八六二		
工兵第一大隊	一四、三六七	二、六七四		
輜重兵第一大隊	二九、五二六	四、〇二七		

備考 各聯隊ニ区分シ難キモノハ平均算出シタルモノナリ

此等右敷地ハ全一部隊ノ占用面積トシテハ若シテ廣狭ノ差アリ歩
 兵一聯隊ノ兵管敷地トシテ七五、〇〇〇坪以上ナルアリ一、七二ニ坪ナルアリ
 又歩兵一聯隊ノ作業場トシテ七〇、三三五坪ナルアリ六九〇三坪ナルアリ此等ノ
 差異ハ設置年度豫算關係等ニ基因セルコトアルヘシト虽大体ニ於テ一
 致スヘキモノト認ム而シテ第二師團ヨリ提示セラレタル標準地積ニ依レハ
 歩兵及野砲兵聯隊兵管敷地ヲ四万五千坪トシ歩兵独立聯隊練兵場
 ヲ五万坪トシ師團右隊兵管敷地ヲ二十万坪トシ即チ一聯隊平均三万
 三千坪(算出)トシ歩兵独立聯隊作業場ヲ五千坪トシ師團右隊共通作

業場ヲ六万五千坪トシ即チ一聯隊平均一万一千坪(算出)ト為セリ然レ
 ト又本調査會ニ於テ河野委員ヲ軍務局長ノ答ナリトシテ速ニラ
 レタル所ニ依リ一聯隊ノ練兵場ハ約四万五千坪又土工作業場ハ約
 五千坪トアリテ彼此一致セラルル速ニ正確ナル標準ヲ定ムヘシ
 而シテ今四ノ案査箇所ニ付テハ一聯隊ニ建物ノ移築費ハ土地價格ヲ
 遙ニ超過スルノ状態ニ在ルヲ以テ既設ノスルニ在リテハ特殊ノ事情アルニ
 ノチ除キ現存スルモノニ唯土地ノミニ因テ過大ナリト認ムルモノニ付
 夫前記標準其ノ他ノ關係ヲ考慮シテ整理意見ヲ附シタリ

五地方裁判所敷地

名称	裁判所敷地		所長官舎		検事正官舎		予審判事官舎	
	敷地	建物	敷地	建物	敷地	建物	敷地	建物
山形	二六七三	六八八	四二六	七〇	四一八	七〇	一	一
秋田	一七二三	四三五	一九九	六八	二一〇	六二	一七七	三八
仙台	二二三七	七一九	五八二	八九	六〇三	八六	四九八	四九

裁判所敷地建物ニ付テハ事件ノ多寡其ノ他ニ依リ一律ニ之ヲ定ムルコト能ハサル事情アルヘシト虽モ官舎ハ一定ノ標準ヲ定ムコト認ム所長官舎ニシテ五八二坪ナルアリ一九九坪ナルアリ検事正官舎ニシテ六〇三坪ナルアリ二一〇坪ナルアリ餘リニ其ノ差ノ大ナルヲ見ル是又過大ナリト認メタルモノニ付テハ一部整理ノ意見ヲ附シタリ

六 監獄附属農地

名称	収容員数	現在員数	農業従事数	耕地面積
----	------	------	-------	------

宮城	—	—	—	二八〇二四坪
盛岡	八五〇	四九〇	三〇	七四、二七一坪
青森	四九〇	三二四	五一	八六、五九四坪
秋田	六五〇	四〇〇	一四	八、五五一坪 外三町歩借地アリ

監獄ニテ農地ヲ所有スル所以ハ囚徒ニシテ農業ニ適スル者ニ耕作セシムルヲ目的トスト謂フ然レトモ秋田監獄ノ如ク現在囚人四〇〇名ニ達シ尙且僅ニ三町六反餘ニシテ足レリト為スモアリ青森監獄ノ如ク現在囚人三二四名ニシテ二八町八反餘ノ大地積ヲ有シ始ント其食糧ヲ自給スルモアリ監獄ニ於ケル囚徒ノ就業ニ技工ヲ要スルモノニ指物工、機織工、くりヤス工、裁縫等アリ技工ヲ要セサルモノニ糸繰、荷札、袋貼等アリ又場所ニ依リテハ土工運搬等ニ従事セシムルモノアルヲ以テ農業ハ必要ナル事項ナリト謂フヲ得ス農地アレハ耕サレテ無ケレハ即チ足ルノ状態ナリト認ム囚人従来ノ事業ニ應ジ之ニ

服役セシメアルモノニ非ス而シテ以テ等監獄ハ何レモ市街地附近ニ在リ
 テ農耕地不足ノ地域ニ在ルヲ以テ一少部分ヲ存シ他ハ之ヲ民間
 ニ拂下クルヲ至当トス 秋田監獄ノ如キハ其ノ耕地僅少ナルヲ以テ監
 獄囚徒ニ監内小面積ノ空地ニ至ル迄集約耕作セシメアルニ拘ハ
 ラズ 他ノ監獄ニ於テハ斯ル空地甚多キニ拘ハラス之ヲ放置
 セリ 是徒ニ過大ノ農地ヲ有スルニ際田スルモノト認ムルヲ以テ寧
 口之ヲ整理意見ヲ附シタル所以ナリ

七種馬所種馬育成所及軍馬補充部支部敷地
 ノ種馬所

名称	總馬數	土地面積	一馬當面積
岩手種馬所	一五六	三四七町七二七步	二町二二六步
宮城種馬所	八九	一四八五二三步	一四〇〇八步

秋田種馬所	一一一	三三六四四二九歩	二、一〇〇九歩
-------	-----	----------	---------

備考 総馬数ハ完成時ニ於ケル種馬耕馬雑役馬總計ヲ掲ケタリ

2 種馬育成所

名称	総馬数	土地面積	一馬当面積
岩手本所	三七〇	六五二六町五三三歩	六、八〇〇歩

備考 総馬数ハ候補馬種馬雑役馬ヲ合シ最多ト認ムル時ナリ

3 軍馬補充部

名称	総馬数	土地面積	一馬当面積
三本木支部	一、八四〇	一、二六八三、一三〇歩	六、八九九歩
廿秋野支部	八二九	七、三九六、一六〇歩	八、九二〇歩

備考 土地面積ハ返還予定地及借入地ヲ除外シタルナリ

此等用地ノ適否ハ一馬当所要面積ヲ標準トシ算定シ之ニ
他ノ事情ヲ斟酌スルコト至当トス而シテ一馬当所要面積ハ建物

敷地ヲ除ク外先以テ一馬当リ食糧ト一町当リ土地生産量トヲ
考慮シテ算定スヘシ而シテ當局ノ提示シタルモノ最モハ右ノ如シ

／舎飼一馬一日平均食糧

イ穀類(燕麦)

種馬所 一貫二百匁 五歳以上ノ牡馬ヲ採レリ

軍馬補充部 九百匁

口牧草但シ乾草

種馬所 二貫匁 全 上

軍馬補充部 二貫匁

附 敷草日量

種馬所 二貫匁 全 上

軍馬補充部 未シテ耕作セル穀類ノ稈ヲ以テ之ニ充ツ

2. 放牧一馬一日平均食糧

種馬所 放牧セス

軍馬補充部 生草二千五百員

但シ全部ヨリ提出セラレタルモノハ五畝歩一町歩当生産量九百廿員

トアリ即チ一日二千五百員トナル之ヲ乾草ニ見積ルトキハ生草八乾草

ハ乾草トスレハ三分ノヨリ四分ノトナルトノ以テ約七百員トナル

尤モ此期間ニ穀類ヲ喫ヘス又蹄傷残留飽食量ヲ含テ謂フ

耕地一町歩当生産量

イ 穀類(燕麥等)

種馬所 耕作セス

軍馬補充部

萩野支部本部 四百七十七員

全 鍛冶谷澤派出部四百十二員

口 牧草 但シ乾草

種馬所(旧播地実收平均)千二百母負

軍馬補充部(耕作地平均)千二百母負

萩野支部本部 六百七十母負

全鍛治谷澤派出部 五百六十母負

原野草刈地一町歩当生産量但し乾草

種馬所

岩手種馬所 二百五十母負

秋田種馬所 百五十母負

軍馬補充部 二百母負(平均)

種馬所ニ於テハ一方年ヲ通シ合飼ノミニシテ放牧也又其食糧タル穀類ハ專ラ購入シ耕作セサルヲ以テ馬当所要面積ハ牧草栽培地ト野草刈取地トヲ標準ト共可ナリ而シテ牧草栽培地ノ收穫量ハ何レ七一町歩乾草一千二百母負ノ予定也野草刈取地ノ收穫量ハ

三

一町歩乾草百五十貫匁乃至二百五十貫匁ヲ予定セリ然レトモ牧草栽培地ハ施肥増加ニ依リ一層其收穫ヲ増シ得ヘク野草刈取地モ亦之ヲ牧草培地ニ轉換シテ其收穫ヲ増加スルコトヲ得ヘシ又種馬所及全育成所ニ於テハ一馬当リ日量敷糧ニ貫匁ヲ必要トシ尙此外食草ヲモ得ル目的ヲ以テ廣大ナル野草地ヲ有シ又ハ既在樹林地ヲ野草地ニ改メントスルモノアルノ一方將來於テハ敷糧ハ專ラ蒿草ノ購ハ及耕作物ヲ以テ之ニ充テントスルモノアリ斯ノ如キ廣大ナル野草地ハ耕作地ニ轉換セストモ寧ロ蒿草ノ購ハラ以テ之ヲ補ヒ其土地ヲ整理スルヲ可クヘシ此關係ヨリ見レハ種馬所ニ於テハ一馬一日ノ牧草ニ貫匁一年七百三十貫匁ニシテ一町歩ノ耕作地收穫千二百貫匁ナルヲ以テ一馬当リ六反一畝歩ト耕作上必要ナル休閑地防風林等ヲ有スレハ可ナルヲ以テ食糧生産地トシテハ一馬当リ約

其二倍一町ニ反歩見當ニテ可ナルハ一軍馬補充部ニ於テハ牧草
 栽培地ノ外穀類耕作地野草刈取地及放牧地ニ必要アリトシ
 現ニ此等自地ヲ所有シ居リ牧草栽培地ノ收穫量ハ乾草六百
 母貫匁内外ニシテ種馬所ノ千二百貫匁迄ニ殆ニト半量ナレトモ彼ハ
 旧播地実収量ニシテ此ハ耕作関係地ノ平均量ヲ示スモノト認ハ北
 海道ニ於ケル全部栽培地ニ於テハ千貫匁ヲ生産スルモノアリト聞
 コ以テ大ニ改良ノ餘地アリト謂フヘシ今假ニ全部ニテ示スカ如ク
 一馬一年ノ舎飼日數約二百十日ニ貫匁ノ乾草ヲ與フルモノトモハ
 四百二十貫匁ヲ要シ一町歩六百貫匁ヲ生産スルモノトモハ一馬當リ
 七反歩ニテ足ル計算トナル穀類耕作地ハ全部ニテ示ス如ク舎
 飼二百十日日九百匁ヲ與フルモノトモハ四百八十九貫匁ヲ要シ一町歩
 四百四十貫匁ヲ生産スルモノトモハ一馬當リ四反三畝歩ニテ足ルハ全
 部ハ五反歩ナリト謂フヲ以テ之ニ從フニトシ放牧地ハ全部ニテ示ス

所ニ依テ放牧日数約百五十五日一町歩平均生産量生草
 七百貫匁一馬百五畝歩即チ一馬当リ七町七反五畝歩ナリト謂フト
 虽モ町歩当リ生草生産量五百貫匁ハ僅少ニ過キ又一馬百五畝歩ハ
 過大ナルミナラス又一町歩当リ生産量五百貫匁トスルモ五畝歩ノ生
 産量ハ生草千五百貫匁乾草トテ約七貫匁ニ当リ是又過大ノ
 見積ナリト謂フナラス東北地方民間種馬育成所ヲ調査シタル
 所ニ依テハ放牧地一町歩当リ生産量生草二千五百貫匁乾草
 トテ約八百貫匁一馬一日当リ生草二十貫匁放牧期間百三十日ト
 此所要面積一町八畝歩トシ雑用地、休耕地等ヲ合シ此ニ倍ニ町反
 六畝歩一馬百一畝十八歩ニテ可ナルト謂ヘリ、軍馬補充部ノ示ス所ニ
 依テ内地ニ於テ放牧地野草刈取地ヲ合シ一馬当リ九町七反歩ヲ
 要スト謂フモ事實ニ於テハ平均六町一反歩ヲ有スルニ過キ此内ヨリ
 全部ノ示ス一馬当リ野草刈取地二町歩ヲ差引テトキハ放牧地八馬

當り四町一反歩トナリ三本木支部ノ如キ一馬當り四町三反六畝ニ
シテ足ルノ意見ナリ又現在放牧地利用方法ハ甚散漫ナル荊棘ヲ去
リテ之ヲ改良シ且嚴密ナル輪還放牧方法ヲ採用スルニ馬當り約四町
歩以下ニテ足ルヘシ即チ軍馬補充部用地トシテハ一馬當り牧草栽培地
七反歩穀類耕作地五反歩放牧地四町歩合計約五町ニ反歩ヲ標
準トシ他ノ事情ヲ斟酌スルハ可ナリト認ム然レトモ野草刈取地其他ヲ
牧草栽培地ニ轉換スルニ相當ノ經費ヲ必要トスヘク又牧草收穫ノ
如キ耕地ノ改善ニ依リ大ニ其増加ヲ爲スヘキモノト認ム
軍馬補充部用地ニ付テハ甚不可解ノ事アリ夫ハ馬當り平均面積ハ
台帳又ハ見込面積ニ依リタルヤ將タ又實測面積ニ依リタルヤ其ニ
在リ殊ニ台帳面積ト實測面積トノ差ハ頗ル大ニシテ東北地方ニ於テハ
實測面積ハ普通台帳面積ノ三倍以上ヲ算スルト謂ヒ稀ニ八十
倍ニ達スルモノアラリ現ニ軍馬補充部ニ最近實測シタリト謂フ

宮城縣玉造郡川渡村横山放牧地中内務省ヨリ所管換ニ
係ルモノ如キハ引継當時ノ面積六町一反歩ナリモノ実測ノ結果
五十九町ニ反四畝五歩ニ達セリト謂フ若シ用地ノ廣狹ヲ調査スル
ニ方リ実測ニ依ラスル台帳面積ノ如キモノ以テハ何等ノ効果
アラサルヘシ宜シク各用地ニ付正確ナル実測ヲ遂ゲ以テ正ナル用地
面積ヲ劃定スルキモト認ム聞クカ如クハ存續用地面積ハ従来ノ
面積ヲ其儘襲用シ今回反還セントスル面積ハ正ナル実測
即チ平面測量ニ依ラスル斜面測量ニ依リ徒ラ過大ニ見積リ
タルモノ如シ斯クハ如クハ存續面積ハ従来面積ニ隠レテ尠大ノ
実積ヲ有シ反還面積ハ稱呼ノミ大ニシテ事實幾何ノ面積ヲ
モ有セサル結果ヲ生スヘシ

内務省所管

一、巖手縣知事官舎

所在 盛岡市仁王第一地割字内丸

敷地 一、一三七坪一八

右敷地ハ主トシテ購入又ハ交換取得セルモノニシテ密附受納セルモノ約
十二坪ヲ含メリ而シテ此ノ内東北隅ノ如キ庭園ニモアラス畑地ニモアラ
サル部分モアリテ過大ナリト認ムルヲ以テ東北ニ當ル道路添ノ畑地ト
共ニ約二百坪ハ不要ナリト謂フヘシ而シテ本官舎附近ニハ小料理店多
ク知事官舎敷地トシテ適當ナラサルカ故ニ他ノ適當ナル場所ニ移轉スル
ヲ可トス

二、巖手縣警察部長官舎

所在 盛岡市仁王第一地割字内丸

敷地 三〇一坪

本敷地内、建坪一〇七坪一ニアルモ腐朽甚シク外柵ノ如キ既ニ其基
部ヲ失ヒ暫倒壊スルノ状態ニシテ此ノ儘永ク放置スルハ威信ニモ
關スヘシ國有財産トシテハ又此等ノ莫ニモ注意ニ改築又ハ移轉
等ノ方法ニ依リ改善スヘキモノト認ム

山形縣知事及部長官舎

所在 山形市旅籠町

敷地 二〇一〇坪 但シ知事及内務部長官舎

右敷地内ニハ知事官舎一四四坪及内務部長官舎一三〇坪、建物ノ
建設シヤルニ過キスシテ廣キニ失スルヲ以テ知事官舎敷地中畑地及内
務部長官舎敷地ニ於テ正門ノ右側道路添ニ放置シアル土地等相当面
積整理スヘキモノト認ム

山形縣警察部長官舎

所在 山形市旅籠町

敷地 五六九坪

右敷地内ニ僅ニ七五坪ノ官舎ヲ建設シアルニ過キスニテ廣大ニスルモノト認ムルヲ故ニ其ノ官舎ノ背後ニ在ル空地即チ現在畑ニ使用シアル部分ハ之ヲ整理スヘキモノト認ム

大藏省所管

一 秋田税務署

所在 秋田市亀ヶ塚端町

敷地 一、二〇四坪ニ九

右敷地ハ買収地ナリ元税務監督局敷地ニシテ廣大ニ過キ西南隅道路添ニ開地アリ約五百坪ヲ整理スヘキモノト認ム

陸軍省所管

一 第二師團仙臺衛戍地

所在 仙臺市及其附近

敷地左ノ如シ

師團司令部

旅團司令部

師團被服倉庫

師團秣倉庫

衛戍監獄

聯隊司令部

兵器部倉庫

憲兵隊本部

仙臺憲兵隊

仙臺衛戍病院

歩兵第四聯隊

歩兵第二十九聯隊

一五二一五坪

五五七五

四九五二

三四九五

二〇〇

九六七二

一七三三

一〇六六七

三八六八七

二一七一二

師団長官舎	一、四二二
仙臺陸軍幼年學校	一〇、八八三
台ノ原小銃射撃場	二四、八一二
川内追廻小銃射撃場	四三、〇一四
歩兵第四聯隊作業場	一一、一一一
五兵歩野砲兵右聯隊作業場	四四、六一二
角五郎練兵場	二六、〇八八
宮城野練兵場	一五、九六四
輜重兵第二大隊	一六、三一七
工兵第二大隊	一五、〇六七
山砲兵第一聯隊	一八、二九一
野砲兵第二聯隊	二九、五二二
騎兵第二聯隊	二七、六四九

陸軍埋葬地

三、二四〇坪

長野軍用停車場

一四、八〇〇

本衛戍地ハ大体ニ於テ市街ノ外廓ニ在リ其ノ大部分ハ市西部ニ屬スル仙台城趾ニ在リ他ノ一部ハ市ノ東部ニ屬スル榴ヶ岡方面ニ在リ本地方ハ未タ土地不足急迫ヲ告クルノ程度ニ非ルヲ以テ市街ノ外廓ニ存スル既設建物敷地ニ付テハ特殊ノ事情アルモノヲ除クノ外暫ク之ヲ措クコトニシタリ

イ、衛戍病院敷地ハ市ノ中心ニ当ル東三番町ニ在リテ一〇、六六七坪ヲ占用シ建物敷地ハ一、八七〇坪ニ過キスシテ市ノ發展ヲ阻害セルノミナラス各隊ヨリ距離遠クシテ不便ナリ而シテ本敷地ノ大部分ハ官有地ヲ所管換シタルモノニシテ市ノ中央ニ当ル東二番町ニ在リ敷地ハ一、七三三坪ヲ有シ建物敷地僅ニ三〇一坪ニ過キス敷地内ニハ

ロ、憲兵隊敷地ハ官有地ヲ所管換シタルモノニシテ市ノ中央ニ当ル東二番町ニ在リ敷地ハ一、七三三坪ヲ有シ建物敷地僅ニ三〇一坪ニ過キス敷地内ニハ

ハ、全部ヲ整理スヘシ

露天馬場及虚名ノ彈藥庫等アリテ不適當ト認ムルヲ以テ是又他ノ通
当ノ場所ニ移轉スヘキモノト認ム

ハ、歩兵第四聯隊敷地ハ一部官有地ヲ所管換シタルモノ及縣有地ト
交換シタルモノヲ含ムモ大部分民有地ヲ買収シタルモノナリ市ノ東部楢
岡公園ノ外廓ニ在リテ敷地三八六八七坪ヲ有シ公園ノ敷倍ノ地積ヲ占ム
而シテ本西國小銃射撃場ハニアリ一ハ追廻ニ在リテ四三〇四坪ヲ有シ他ハ
台原ニ在リテ二四八二坪ヲ有スルモノ師團ノ小銃射撃場ハ一ヶ所ニテ可
ナリト認ムルノミナラス追廻射撃場ハ市街地ニ近接シ又青葉城趾公園
ノ通路ニ近ク虞アリト認めラル、ヲ以テ今射撃場ヲ廢止シ歩兵第四聯隊
ヲ其ノ跡地ニ移轉セシメ今聯隊現在敷地ハ全部ヲ整理スヘキモノト認ム
ニ、諸兵作業場及司令部用地ノ内一部諸兵作業場ハ四六一〇二坪ノ
大地積ヲ有シ官有地ヲ所管換シタルモノナリ本地ハ旧城趾ノ背面ニ屬
スル青葉山ナリ現況殆ント樹林地ニシテ水源ヲ爲シ事實作業場ト

使用せらるハ唯一部分ニ過キス各隊作業場トシテ
ニテ 宮城野原練兵場ニ接スル第四聯隊作業場

二〇

練兵場ハ一五九六四四坪ヲ有シ其ノ一部ヲ作業場ニ當ツルモ支障ナカル
ヘシ又司令部敷地其ノ他ノ一五六〇六七坪ハ樹林地約三分ニアリ又此ノ
内城趾旧本丸ニ屬スル部分ニ三、九三七坪ヲ照忠會ニ公園地トシテ
貸付シアリ此等樹林地ハ總テ一括シテ国有林ニ移管シ保安林ト
シテ經營セシムルヲ至当ト認ム

ホ築城本部所屬長町軍用停車場一四、八〇〇坪ハ長町停車場ニ接
續シ現ニ耕地及軌條布設敷トシテ貸付シアリ耕地ハ田又ハ畑ニシテ軌條ハ
現ニ布設セラレタルモノナシ曰清戰爭當時軍隊輸送用旭トシテ二〇、〇六五
坪ノ民有地ヲ買収シタルモノナルモ爾來全ク使用セズ明治四十年其内
五、二六五坪ヲ逋債者ニ所管換シ今日鉄道省用地トシテ今停車場敷地
ニ附屬セリ現況以上ノ如クニシテ全ク不用ノ土地ナルヲ以テ全部之ヲ整理スヘキト認ム
ニ宮城種馬所

所在 宮城縣王造郡西大崎村

敷地 一四町八五二三九一

現況

家屋及營造物敷地

一町八九〇五、六四

耕作地

七三、二〇〇〇、四三

植樹地

二三、六七〇九、六五

野草地

一、一九一六、二五

天然樹林地

一三、八九二一、九四

開墾所依レハ右天然樹林地ノ分道路敷約十一町歩ヲ含ム

當所馬敷ノ視察當時種馬七七頭耕馬七頭雜伎馬三頭合計八六頭
ナリ十八年討画完成ノ際ニハ種馬八〇頭トスル豫定ナリ而シテ當所ニ於テ
ハ將本種馬數ヲ一一〇頭耕馬九頭雜伎馬三頭合計一二一頭トスル
ノ希望ヲ有ス然ルニ十八年終面積ニ於テ一五町歩不足スルヲ以テ擴張ヲ要

スト謂ヘリ本敷地ハ概シテ平坦地ナリ植樹地ハ耕作地ヲ圍繞スル防風
林ナリ一團ノ樹林地トシテハ天然樹林地ニ町一反歩ノモアルノミ本地
積ノ廣狹ハ種馬八頭耕馬七頭雜後馬ニ頭合計八九頭ヲ標準トシテ
可ナルヘシ然ルトキハ要旨ニ述ヘタルカ如ク耕作地防風林ヲ合シ一頭当リ一
町ニ反歩即チ約一〇七町歩ト建物及道路敷地若干ヲ有スレハ可ナリ
左敷地ヲ現在ノ儘トスレハ一三一町歩トナリ約六町歩不足スルノ計算トナル
又当所ニ於テハ牧草收穫量ヲ現在一、二〇〇貫ヨリ一、四〇〇貫ニ増加スル
ノ計画ヲ有シ且ツ建物敷地一ニ町八九即チ三八、六七〇坪中ニ僅ニ一、一五〇
坪ノ建物アルノミニシテ其ノ間介在地甚廣キニ拘ラス單ニ庭トシテ使
用スルヲ以テ此等ハ耕作地トシテ集約ニ利用セハ窄口土地ニ剩餘
ヲ生スルスト謂フヘシ

三騎兵第三旅團盛岡衛戍地

所在 盛岡市郊外巖手郡厨川村、滝沢村ニ在リ

敷地

騎兵第三旅司令部

盛岡聯隊司令部

盛岡憲兵分隊

盛岡衛戍病院

騎兵第二十三聯隊

騎兵第二十四聯隊

工兵第八大隊

盛岡射撃場

盛岡架橋演習場(甲)

盛岡架橋演習場(乙)

盛岡作業場

盛岡坑道作業場

盛岡練兵場

一四八八坪

二八九

三七九

三九六四

三二六三七

三一一一四

一四三六七

六三九四九

四八八一

一四〇三

四八八八九

九〇一三六三

九〇一三六三五

盛岡右隊用馬糧庫

三、四四〇坪

盛岡陸軍埋葬地

一、五〇〇

盛岡騎兵營ヨリ国道通スル道路

二、七九一

右敷地ハ聯隊司令部及憲兵分隊ノ市中ニ存スルノ外市ヲ距ル約一里ノ郊外陸羽街道ノ西方ニ纏レリ本地方ハ土地ノ利用未ダ一般ニ集約ナラズシテ既設建物敷地ニ付考慮ヲ加フルノ程度ニ非ラス

盛岡練兵場 九〇六、七四坪ハ官有地所管換又ハ民有地ヲ買収シタルモノニシテ平坦地ナリニ聯隊及一大隊ノ練兵場トシテハ極大ニ過リ現ニ共約三分一ハ樹林地 荊棘叢生地又ハ濕地ニシテ使用ノ形跡ヲ認メラレス 第二師團ニテ示シタルウ知リ步兵独立聯隊演習場ヲ五万坪トシ騎兵一聯隊ノ分ヲ假リニ其ノ倍数トスルモ十万坪ニテ可ナリ況ンヤ右五万坪ハ過大ナリト云フヘシ故ニ本練兵場ノ約三分一ニ即チ六十万坪以上ハ右樹林地方面ニ於テ整理スヘキモノト認ム

口、盛岡作業場四八八九坪ハ官有地所管換及民有地ヲ買収セシメニシ
 テ主トシテ工兵一大隊ノ作業用トシテ亦過大ナリ第二師團ニテ示シタルカ如ク
 歩兵一聯隊ノ作業場五〇〇〇坪ノ倍数トスルモノ〇〇〇坪ニテ可ナリ又其ノ
 約三分二、三分坪以上ヲ整理スヘキモノト認ム

ハ、盛岡射撃場六三九四九坪ハ官有地所管換及民有地ヲ買収シタルモノナリ
 其ノ設備ヲ為セルハ約一万坪ニ過キスレテ其ノ他ハ主トシテ休息地ニ當ツルモノ、如シ本
 敷地ニ亦過大ニ失スルカ故ニ約一五〇〇坪ヲ存シテ其ノ他ヲ整理スヘキモノト認ム
 四、岩手種馬所

所在 巖手縣岩手郡厨川村

敷地 三四七町一七二七

現況

家屋及營造物敷地

耕作地

一八八町四〇三

九五、〇〇〇

野草地

一三三新八七一七

植樹地

二六二一一一

天然樹林地

六八〇一〇〇

不用地

三七〇〇

難用地

四八六一七

尚此外内務省ヨリ借入中ノ河川附屬地五町二〇〇〇歩アリ

當所町敷ノ視察當時種馬一〇頭耕馬一〇頭雜牧馬三頭合計一七頭ナリ

十一年計画完成條ニ種馬一〇頭耕馬一三頭雜牧馬三頭合計一六頭ニ増加

スル豫定ナリ本敷地ハ買収地及所管換地大部分ヲ占メ一部昇付ニ係ルモノニ

シテ地勢殆ト平坦ナリ植樹地ニ六町余ハ主トシテ防風林ナレトモ集團セル植

林地アリテ防風林ト認メ難キモノアリ天然樹林地六八町歩ハ一部防風林ナル

モ大部分ハ目下當所ノ為ニ何等共ノ用ヲ為サズ野草地一三三町余甲ニ事

實樹林地數ナカラス而シテ當所ニ於テハ完成時迄ニ耕作地一六町歩ヲ増加

シテ一二町歩ト為シ又建物敷地ハ町歩ヲ増加シテ二六町歩ト為サントシ其ノ
 敷地ハ之ヲ野草地ニ採リ其ノ野草地ハ現在天然樹林地ヨリ轉換補充ノ計
 画ナリト謂ヘリ然レトモ要旨ニ速ニタルカ如ク種馬所ニ於テハ食糧生産地及
 防風林トシテハ一馬当一町ニ及歩ヲ標準トシテ充分ナルヘキヲ以テ完成時ニ
 於テ約一八七町歩ヲ可ナルヘシ此升建物敷地ニ六町歩ハ過大ト認ムルニ假
 ニ此ノ儘之ヲ加フレハ二一三町歩ニテ足ル計算トナリ一三四町歩ノ餘裕ヲ
 生ス而シテ本地積ハ当所ニ於テハ之ヲ將來野草地トシテ維持シ食草ヲ収
 穫シテ一面耕作地ノ不足ヲ補ヒ他面敷草ノ一部ヲ得ントスルニ在レトモ当所
 ノ計画ニ依リ本地積ヨリ將來僅ニ食草一ニ五〇〇貫匁及敷草ニ〇五〇〇
 貫匁ヲ得ントスルニシテ其ノ完成ヲ見ル際ニ於テモ尚敷料トシテ此ノ外
 藁一ニ八ニ六貫匁ノ要アリト謂ハ此ノ野草地ハ寧ロ之ヲ廃止スヘシ
 而シテ残ニ二三町歩ノ内ヨリ耕作地ヲ増加シテ右食草一ニ五〇〇貫匁ヲ得ル
 ニ努ムルト共ニ敷料ハ休耕地耕作ノ穀稈ヲ利用スルノ外藁ノ購入ヲ増加シ

三四

アノ之ニ充ツルコトニシテ本池積一三四町歩以上ハ之ヲ整理スヘキモノト認ム

五種馬育成所

所在、本所、岩手縣岩手郡滝沢村ニ在リ敷地ハ全村及ニ戸郡荒沢村ニ

在リ

敷地

二、五、一、六、町、一、五、二、三、七、町

現況

塚屋及宮造物敷地

一、一、五、八、二、一、九

耕作地

二、三、三、八、〇、〇、〇

防風林地

植樹地
天然樹林地

九、五、八、〇、〇、四

野草放牧地

六、五、三、〇、三、二、七

牧草放牧地

四、八、四、〇、〇、〇

野草地

一、三、六、九、二、九、〇、三、七、〇

当所馬數、視察當時候補馬三口五頭、耕馬二五頭、雜使馬一三頭、合計

三四三頭ナリ馬政局ニテ示シタル所ニ依リ候補馬ニ七五頭トアリ當所馬
數ハ増減常ナラスレテ本年七八月ノ交ニハ三六九頭ニ達セリト謂フヨ以テ
當所馬數ハ之ヲ三七〇頭トスレハ可ナルヘシ本敷地ハ所管換又ハ買収地ニ係
リ地勢過半平坦ナリ防凡林九五町余ハ其ノ幅過大ナル部分多シ野草
放牧地及野草地ニ〇ニ三町余中ニ樹林地多シ當所ハ耕作地ニハ牧草ノ
外穀類ヲ栽培シ又放牧ヲ為スヲ以テ軍馬補充部支部ニ似タリ然レトモ放
牧地ハ野草放牧地六五三町余及牧草放牧地四八町余合計七〇一町余ヲ使
用セリト謂フヲ以テ暫ク指テ穀類及牧草栽培地ニ付テハ軍馬補充部支
部ノ例ニ依リ一馬当約一町ニ反歩トスレハ從馬數ニ對シ四四四町歩ヲ必要ト
スル計算トナル而シテ建物敷地ニ五町八反余即三四七四〇坪ヲ使用セリト謂
フ又空地甚タ多クシテ耕作地其ノ他トシテ集約利用スルヲ可トスルヲ以テ建
物敷地トシテハ其ノ三分一約四〇町歩ニテ余裕アルヘシ仍テ合計一八五町歩ヲ
要スル計算トスルヲ以テ本敷地内ニ於テハ約一三〇町歩ヲ整理スヘキト認ム

大軍馬補充部三本木支部

所在 支部本部、青森縣上北郡三本木町外二ヶ村三跨り他ノ三出張

所ノ左部甲地村外六ヶ村及三产部戸来村ニ散在ス

敷地

現況

放牧地

草刈地

耕作地

合計

建物敷地

及還予定地

借入地

総計

面積

一馬当面積

放牧地	748	105	436
草刈地	105	381	636
耕作地	295	70	365
合計	1148	145	1293
建物敷地	605	1	606
及還予定地	313	1	314
借入地	450	1	451
総計	1346	15	1361

△印、難用地(道路用水溝排水溝防風林池沼崖岸等)面積トス

右ノ内ニ本木支那本部ニ本木町接續ノ一團地ヲ視察シタリ其ノ他ノ部分ハ土地
廣汎ニシテ方実査ノ到底旬日ノ盡ス所ニ在ラス視察箇所ハ耕地劃然トシテ
善耕セシレ防風林ノ配置道路ノ貫通甚タ整ヘリ而シテ此カ地積ノ當否ヲ調
査セントスルニ本々充分ノ資料ヲ得ル能ハス今要旨ニ述ヘタル標準ニ依リ之ヲ
見ルニ土地ノ集約利用ヲ期セシハ一馬當約五町ニ反歩ニテ可ナルヘシ而シテ當所平
年馬數ハ保管馬一七二四頭耕馬九二頭雜役馬三四頭合計一八四〇頭ナルヲ以
テ總馬數ニ對シ約九五七町歩ヲ要スヘシ此ニ在ル難用地ヲ加フレバ可ナル
ヘシ然ルニ耕作地未ク充分ナラスシテ草刈關係地三二七九町歩ヲ包有シテ食
草ノ不足ヲ補ヒ敷料ノ約半量ヲ收穫シ居レリ野村草刈關係地ニ一部
耕作關係地ニ轉換シ其ノ他ハ之ヲ整理シ敷料ハ耕作地ヨリノ穀稈其ノ他
ヲ利用シ不足ハ專ラ葉ノ購入ヲ以テ補フヲ可ナリトス而シテ返還予定地ハ之ヲ
實行シテ借入地ハ不用ト認ムルヲ以テ之ヲ返還シ其ノ他ニ直リテハ土地貸測ニ

依り 正当面積ヲ保留スルノ外 餘テ之ヲ整理スヘキモノト認ム

七、歩兵第四旅團青森衛戍地

所在 青森市外筒井村及造道村ニ在リ

敷地

青森聯隊区司令部

八〇九坪

青森憲兵分隊

三〇八、八九

歩兵第五聯隊

三九五七九、〇〇

青森衛戍病院

四、〇八七、〇〇

青森射撃場

一六、九三〇、〇〇

青森射撃場移轉候補地

三三、四四八、〇〇

青森練兵場

四四、〇〇四、〇〇

歩兵第五聯隊訓練兵場ニ至ル道路

一、七八三、〇〇

歩兵第三聯隊作業場

七、〇三五、四〇

步兵第五聯隊飲料水敷地

二二一坪

青森陸軍官舎飲料上水敷地

一六二坪

青森陸軍埋葬地

四一六坪

青森陸軍官舎

一三三坪

青森聯隊司令部官舎

五〇坪

右敷地ハ練兵場及射撃場ノ市街地ニ接近スルモノヲ除キテハ並ニ市街地ヲ去ル

郊外ニ纏リ一廊ヲ為シ特ニ整理シ余地ヲ認メス

ハ青森練兵場 四四〇四坪及青森射撃場一六九三〇坪合計六〇九三〇坪

ハ官有地所管換及民有地ヲ買収シタルモノニシテ青森市外ノ東部ニ接續シ

市ノ發源地ニ當リ殊ニ射撃場ノ危険ノ虞アルヲ以テ他ノ適當場所ニ移

轉スヘキモノト認ム

ハ青森射撃場移轉候補地 三三四八坪ハ明治三十四年民有地買収以來

聯隊ノ距離遠ク往復不便ニシテ別ニ現射撃場アルヲ以テ爾來使用セザ

ハ、伏態ナリ前記練兵場ノ移轉ト共ニ之ニ接近シテ新時隣場ヲ設ケ此地
ハ全部整理スヘキト認ム

ハ、歩兵第五聯隊作業場七、五坪四〇又官有地所管換及民有地ノ買

収シタルモノシテ市街地ト兵管ノ中間耕地ニ介在ス以此又練兵場移轉ト共ニ

左地方ニ移轉スヘキト認ム

ニ、歩兵第五聯隊ヨリ練兵場ニ至ル道路敷一、七、八三坪モ亦以上移転ト共ニ整

理スヘキト認ム

ホ、青森陸軍官舎中ノ過半低級ニ屬スルモノハ腐朽甚シク居住困難

程度ニ在リ官舎トシテ維持スル以上相当経費ヲ投シテ改築又修繕ヲ行

フヘキト認ム

ハ、第八師團弘前衛戍地

浙江 弘前中隊中津輕弘前中隊弘前中隊弘前中隊ニ在リ

敷地

第八師團司令部步兵第四旅團司令部	一、五五三
弘前聯隊司令部	一、五五三
第八師團兵器部倉庫	六、五四四
第八師團經理部被服倉庫	三、七四三
出師計画用地(秣倉庫敷地共)	五、五五七
弘前衛戍監獄	三、一六三
弘前衛戍病院	一、七、三五九
弘前憲兵隊本部	八、〇六
歩兵第三十一聯隊	四、〇、二三五
歩兵第五十二聯隊	三、八、七二八
騎兵第八聯隊	四、四、八〇五
野砲兵第八聯隊	四、五、八九二
輕重兵第八大隊	二、九、五二六
館野射撃場及作業場	三、〇、八、七二六

原々射撃場

四六、四七、六坪

弘前作業場(弾砲台)

四、三五五

第師團司令部、弾砲台、通る道路

六九

弘前作業場(歩兵庫、倉庫)

二一、〇八五

弘前練兵場

一三二、二七五

弘前練兵場、館野高地、連絡道路

一、二二七

弘前陸軍埋葬地

三一八六

師團長官舎

九〇〇

右敷地、市中及南方郊外に亘り幕布之土地、利用散漫ナレトモ一般ニ土地不足ヲ告ケサルノ地方ナルヲ以テ可成現狀、儘存置ルヲ可トスルニ整理スヘキモノ如シ

本師團司令部、歩兵第四旅團司令部及弘前聯隊司令部敷地、三五五五坪、八、所管換及買収交換取得セルモノニテ停車場ヨリ市中央ニ通ルル街

路ニ添ヒ建物ノ周囲甚廣大ナリ而シテ今師團兵器部倉庫敷地ハ旧城
 趾ニ在リテ六五四坪三四ノ地積ヲ有シ老樹鬱蒼トシテ美觀ヲ呈シ
 建物敷僅ニ三三八九坪三八ニ過キス用地甚多シ且本敷地内ニ在ル火
 兼庫ハ市民ノ危険視スル所ナルヲ以テ他ニ移轉シ此等用地及火兼庫
 跡ニ右司令部ヲ移轉シ現在司令部敷地ハ全部之ヲ整理スヘキモノト認ム
 口 秣倉庫其他出師計画用地五五五七坪中秣倉庫敷地ヲ除ク五五七
 坪ノ土地ハ民地ニ在リ放置セラレアリ整理スヘキモノト認ム
 ハ 野砲台ヲ含ム弘前作業場四三五四坪五ハ司令部敷地ノ西方近傍ニ在
 リ所管機及買収取得シタルモノニシテ全ク作業用トシタル形跡ナク練兵場ニ当テ
 リ練兵場トシテ他ニ有ルヲ以テ全部整理スヘキモノト認ム
 ニ 師團司令部ヨリ野砲台ニ通スル道路敷六九坪ハ買収地ニシテ右作業場ヲ整
 理スルトキハ野砲台モ亦他ノ適當ノ場所ニ移轉スルヲ可トスルヲ以テ全部整理ス
 ヘキモノト認ム

歩兵障害物飛越場ヲ含む弘前作業場ニ一〇八五坪一三〇〇司令部附近
被服庫裏側ニ在リ所管換及買収取得シタルモノニテ其ノ大部分ハ作業
場トシテ使用セズ一部練兵場ニ用ヒ一部雜草繁茂セリ本敷地ニ障害物飛
越場トシテ少部分ヲ残存シ約二万坪ヲ整理ス（キモノト認ム）

一、弘前練兵場一三〇〇〇五坪ハ大部分買収地ニテ一部所管換及献納
係ルモノアリ郊外清水村ニ在リ耕地ニ在スル平坦地ナリ而シテ当師團ニ於
テ八千歳村丘陵地ニ在ル館野射撃場及作業場三〇八、七三五坪六ノ原平
射撃場四六、四七五坪五ヲ包容シ更ニ近接ニ一〇、〇〇〇坪ノ民有地ヲ買収シ
テ五十万坪以上ノ射撃場等ヲ含む演習場ヲ作ラントシツ、アルヲ以テ其ノ
當否ハ之ヲ別トシ本練兵場ハ依然存續ノ必要ナキヲ以テ全部整理スヘキモノト
認ム

九、歩兵第十六旅団秋田衛戍地

所在 秋田市 在リ射撃場及埋葬地ハ郊外ニ在リ

敷地

歩兵第十六旅団司令部

一、六四八坪

歩兵第十七聯隊

四〇、五二七

秋田衛戍病院

四、三九二

秋田作業場

六、九〇三

秋田練兵場

四六、二二九

秋田聯隊区司令部

一、七六三

秋田憲兵分隊

一、七九

秋田射撃場

一六、七九二

元秋田射撃場

三六、一〇四

歩兵第十七聯隊障礙物飛越場

六、〇一八

秋田陸軍埋葬地

一、七一四

右敷地六練兵場、射撃場及埋葬地、除中田城跡本丸以外、一部は在りて市

ノ東北部外廓ヲ占ム共ノ整理スヘキモノ左ノ如シ

イ、秋田射撃場一六七九ニ坪及旧射撃場三六二四坪ハ市外河辺郡新谷村ニ在リ何レモ所管換・買収地及献納地ヲ含ム元射撃場ハ使用セサルモノナリ以テ現時射撃場ノ着弾危険地域ヲ其一部ニ取り三万坪以上ヲ整理スヘキモノト認ム

ロ、秋田練兵場四六二八坪五ハ大部分買収地ニシテ一部所管換及買収地ナリ市東北部ニ当リ鑛山専門学校ト市街地トノ間ニ在リ又土地低クシテ湿地ナルカ故ニ演習場トシテ適当ナラス川尻村ニ約一五〇〇〇坪ヲ送定シ移轉計畫中ナリト謂ヘハ本地ハ全部整理スヘキモノナリ

ハ、秋田作業場二九〇ニ坪ハ所管換献納及買収地ニシテ市ノ東端鉄道線跡添ノ低地ニシテ作業ニ當リ湧水シ當初ヨリ使用セズ放置シヤリ本敷地モ亦旭川村丘陵地約五万坪ヲ送定シ移轉計畫中ナリト謂ヘハ是亦全部整理スヘキモノナリ

ニ步兵第十七聯隊障礙物飛越場六〇一七坪、民有地賦約ニ係ルモノナ
 レトモ旧城跡、一部司令部ノ背後市街地ト中間ニ在リ適當ナラサルヲ
 以テ他ノ適當場所ニ移轉シ整理スヘキモノト認ム
 十秋田種馬所

所在 秋田縣仙北郡神宮寺町

敷地 二〇三町四四二八九五

現況

官造物及家屋敷地

二六町三〇二九、〇〇九

耕作地

一〇一、八〇〇、〇〇〇

植樹地

一九、〇三〇、八、八〇〇

野草地

四〇、九四二、八、一三

天然樹林地

四二、四九二、六、九四

不可用地

一、八五二、六、〇〇〇

当所馬數ハ觀察當時種馬七六頭耕馬九頭雜役馬二頭合計八七頭ナリ十八年計
画完成之際ニ種馬一〇頭耕馬九頭雜役馬二頭合計二一頭トスル豫定ナリ尚
秋田縣ニテハ現在民間種馬ノ半數約百六十頭ヲ本所ニ繫めセリトテ希望セリト
謂フ本敷地ハ主トシテ所管換地ニシテ一部民有地ト交換シタルモノナリ地勢ハ大部
分平坦地ニシテ一部丘陵地ナリ樹林地一九町余ハ耕地ヲ圍繞スル防風林多キモ
丘陵地ニ植林シタル部分アリ天然樹林地四町余及不可用地一町八反余ハ丘陵中
ノ背面ニ在リ而シテ當所ニ於テハ完成時迄ニ建物敷地ヨリ約七町歩野草地中ヨリ
約五町歩ヲ削キテ耕地約三町歩植樹地約九町歩ヲ増加スルノ計畫ナリト謂ハ
リ然レトモ要旨ニ述ベタルカ如ク食糧生産地及防風林トシテハ一馬當一町ニ及
歩ニテ可ナルキヲ以テ完成時ニ於テ又約一三三町ニテ足ルヘシ尚完成時ニ
於テハ建物敷地ヲ一九町余ニ縮メテ謂フヲ以テ合計一五二町余ニテ足ル計
算トナリ約八十町歩ノ餘裕ヲ生ズ本地積ハ當所ニ於テハ時米野草地及天然樹
地トシテ持續セシ計畫ナレトモ其目的トスル所ハ復草九七六貫敷算七六四〇貫ヲ得

ントスルニ升ナラス然レトモ食亭、宮城種馬所ノ如ク耕地増収ヲ計リ又敷草、完
 成時ニ於テモ尚葉ハ六、六、六ノ購入ヲ要スト云ハ、寮口左部購入ニ仰クヲ可
 トスシ仍テ無陵方面ニ集團セル此等敷地約八十町歩ハ之ヲ整理スヘキト認ム
 一、歩兵第二十五旅団山形衛戍地

所在 山形市香澄町但シ射撃場ハ郊外南村山郡龍山村ニ在リ

敷地

旅団司令部

一、〇〇〇坪

歩兵第三十三聯隊

九九、一四九 (ニ、六、六ニ九坪ノ外濠ヲ含ム)

山形衛戍病院

四、〇三一

山形聯隊区司令部

三、〇〇〇

山形小銃射撃場

二九、八八〇

山形練兵場

四六、三九六

山形作業場

六八、三五

山形陸軍埋葬地

一、五三六坪

仙臺憲兵隊山形分隊

二四七

右敷地ハ市ノ西端部ニ纏レリ其ノ中歩兵第三ニ聯隊ハ白霞ノ城趾ヲ独占
 シ練兵場及作業場ハ其ノ外濠ヲ隔テ、南方ニ接續スル平坦地ニ在リ其ノ
 他ハ射撃場及埋葬地ノ市ノ東部郊外ニ在ルノ外聯隊ト鐵道線路ヲ挟
 ミテ集園ヲ為セリ聯隊敷地ハ接續練兵場四六、三九六坪ヲ有スルニ拘ラス
 其ノ地積實ニ九九、二四九坪ヲ有ス此ノ中ハ外濠及土壘ヲ含ムモ學堂空地
 六〇、二九〇坪アリテ廣キニ失セルヲ以テ市街ニ在リ所管換又ハ買収地ニ係
 ル旅團司令部一〇〇〇坪、聯隊司令部三〇〇坪、衛戍病院四〇三坪ヲ
 右聯隊敷地内ニ移転シ其ノ跡地ハ之ヲ整理スヘキモノト認ム

三、軍馬補充部萩野支部

所在 本文部ハ山形縣最上郡萩野村外ニ在リニ出張所ニ牧場ハ全
 村外一村宮城縣玉造郡川渡村加美郡宮崎村川田郡福岡村ニ散在ス

敷地

現況

放牧地

草刈地

耕作地

合計

構内敷地

貸下地

返還予定地

総計

面
積

一馬当面積

△	四、六	△	一、七	△	三、一	△	二、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五
△	四、一	△	七、七	△	一、五	△	一、五	△	二、五

八、五七七、七〇
一、五九七、四五一

△印ハ難用地(道路用水溝排水溝防風林沿池崖岸等)ノ面積トス

本文部ハ凡士候補馬養成ニ適セスレテ鈍重トナリ悪化スルノ傾向ヲ有シ支部トシテ
 適地ニアラス陸軍省ニ於テ毛北道道移転ノ計画ナリト云ハ全部ヲ整理スルキモト認ム

海軍省所管



一 大湊海軍要港部

所在 青森縣下北郡大湊村 但射撃場、大湊灯台城ヶ沢ニ在リ

敷地

構内

官舎

射撃場

對岸及持續樹林地

貯水池

水源地

右構内敷地九一町歩、上下二段ニ分レ上段ニ廳舎、會議所、兵舎、病室等アリ、兵舎一部ニ餘積ヲ採スルニ近ク、潜水隊所屬ノ豫定ナルヲ以テ、寧ろ口狹隘ヲ告グト謂ヒ、現ニ廢舎ヲ東北部空地ニ新築移轉計畫中ニ屬ス

ン残地ト認ムヘキナリ下段ニ右炭庫鉄工場其他各種ノ倉庫及工場多数
 存在シ此又余地ヲ有セス官舎敷地町歩中ニ司令官其ノ他三十大官舎所在シ
 何レモ狹隘ナリ射撃場三七町歩ハ新ニ増加スル兵員ヲ含メ約八百名ノ小銃戰
 射撃場トシテ使用スルヲ以テ過大ナラスト謂ヒ對岸森林約一三町歩ハ大
 湊港ノ外側ヲ包围スル狹長ノ岬ヲ形成シ之ニ接續スル森林約三三町歩ト
 共ニ各種施設ヲ含ミ軍事上極要ナリト謂フヲ以テ暫ク措クコトスヘシ而シテ
 官舎及貯水池敷地ノ背後ニ屬スル三四九町歩ノ山地ハ概テ原野状態ヲ為シ
 脚料地ヲ買収シタルモノニシテ水源地ナリト謂フヲ以テ本地積ハ之ヲ國有林
 ニ移管シ水源涵養保安林トシテ維持スルヲ可ナリト認ム

司法省所管

一、官城控新院、裁判所及官舎敷地

所在 仙台市比平町但シ假廳舎ハ在平ノ地方裁判所敷
 地ニシテ東ニ番町ニ在リ

敷地

建築中ノ新廳舎

四、〇〇五坪

假廳舎

二、〇三六坪

控新院長官舎

一、三五七坪

横事長官舎

九七六坪

地方裁判所長官舎

五八一坪

検事正官舎

六〇一坪

予審判長官舎

四九八坪

右ノ内假廳舎敷地ニ三六坪六四民有地ヲ買収セシメ、目下新築中

ノ廳舎ニ引越スヲ以テ全部整理スルハ當然ナリ新廳舎敷地モ亦買収

地ニテ其ノ東南部ニ屬スル在来敷地ノ内約二百坪ハ過大ニテ隣接小學校

敷地狹少ナルヲ以テ三角形ニ其ノ土地ヲ割テ小學校ニ取得セシム方法ヲ講スル

ヲ可夫尚官舎敷地ハ何レモ買収地ニシテ其自院長官舎敷地ハ三五七坪

三七、八過大ニシテ放置セラレタル部分アルヲ以テ其内約六百坪ヲ整理シ、横
事官舎敷地九七六坪三三七亦過大ナルヲ以テ約二百坪ヲ整理シ予審判
事官舎敷地四九八坪一〇七亦道路ニ接スル角地、空地畑約百坪八三ヲ
整理スヘキモノト認ム

二 官城監獄

所在 仙臺市行人塚ニ在リ

敷地

廳舎敷地

三〇、五二八坪

官舎敷地

七、二〇三

附屬農場

二八、〇二四

廳舎敷地中空地多シ特ニ整理スヘキモノナシト雖此等ハ因循ヲレテ耕作セ
シムル等集約利用ノ途ヲ講スルノ可ナルヲ認ム又附屬農場ハ九町三反余ヲ
有スルニ至ルニ近ヘタルカ如ク斯ル地積ハ必スレモ所有セサルニ可ナルノミナラズ民間

耕地不足ノ間ニ付在スルモノナルヲ以テ寮口其區半ハ之ヲ整理スルヲ可ナリト認ム

三 盛岡監獄

所在 岩手縣岩手郡厨川村

敷地

廳舎敷地

一、二、七、九、五、八、六坪

官舎敷地

二、八、一、五、五

道路

一、九、六、七、六、八、二

堰代

三、七、八、七、五

廳舎附屬畑地

二、五、〇

第一農場

二、一、一、八、九、九

第二農場

五、三、一、五、二、一

廳舎官舎敷地ノ利用集約ナラサルモノアルヲ暫ク措キコトシ農場及畑地ハ民

有地買収又ハ交換取得シタルモノニテ后計約ニ四町歩アリ当監獄ノ説明
 ニ依テ現在受刑者成年ニ八名中農業者八名少年一四名中農業者
 三名アリ現任農場ハ成年三名少年二名ヲ使役スルニ充テラサルヲ以テ二
 倍ニ擴張スルノ要アリト然レトモ要旨ニ連テカ知リ新ニ大面積ノ農場ノ必
 要ヲ認メラセザルヲ以テ秋田監獄ノ如ク少面積トスルヲ可トスヘク即チ少シク第
 ニ農場ハ之ヲ整理シ護舎官舎敷地内空地敷キカラサルヲ以テ此等ノ土
 地ヲ適當耕作セシムルノ可ナルヲ認ム

三、青森監獄

所在 青森市郊外東津輕郡荒川村ニ在リ

敷地

護舎敷地 八九二四坪

官舎敷地 四二二五、四五

附屬農場 八六、五九四、五五

右敷地ノ中農場ハ約三九町歩ニシテ、現在受刑者三四人ノ中約五〇名
農場ニ就業スル謂フ本監ニ於テモ其面積ヲ約五町歩ニ縮小シ、廬舎及
官舎敷地中ノ空地ヲ集約耕作セムルヲ可ナリト認ム

四山形地方裁判所附屬地

所在 山形市旅籠町

敷地 四九二坪

右附屬地ハ由裁判所敷地ト交換シタルモノナリ現ニ植物栽培ノ為メ貸
付中ノモノニテ、本用ナルヲ以テ全部整理スヘキモノト認ム

文部省所管

一盛岡高等農林學校

所在 盛岡市上田及岩手郡米内村ニ跨ル但シ經濟農場及神明神演習

林ハ全郡神明神村ニ滝沢演習林ハ左郡滝沢村ニ在リ

敷地

建物敷地

一〇、五五〇坪五五

実験農場

六二、〇四一

農具生徒実習用及見本園等ナリ

植物園

五、五七六坪

林学実習場

七、七九三、二

林学生徒実習用ニシテ樹苗園ナリ

運動場

三、八九三坪

経済農場

三〇、四一四

御明神演習林

二、三六九、一五一

滝沢演習林

八九四、八八六

右敷地中校舍敷地即チ建物敷地実験農場植物園林学実習場及運動場

合計九六、八四九坪七五八土地相当集約ニ利用セラルテ現ニ生徒三百餘名ナリ

有スル高等农林学校トシテハ適当ト認めタルニ経済農場ハ百町歩以上ノ地

積有シ其ノ経営ノ目的ハ東北地方未墾地開墾ノ方法ヲ攻究スルノ一方ニ生
徒指導ニ資セントスルニ在リト謂フモ斯ル方法ノ研究ハ農商務省又ハ地方廳
ニ於テ行フヲ至当トスヘシ又民地ノ経営方法其他ニ伴攻究スルモ其ノ目的ヲ達シ
得ヘシ而シテ其ノ現状ハ約三十町歩ヲ開墾シ其ノ他ハ樹木散生ノ状態ニ放置シ
アリ之ヲ耕作ス亦主トシテ雇上人丈ニ依ルモノニシテ生徒ノ実習ニ充ツルモノニアラス加凡ニ
本校經費ハ頗ル不足ナリト謂ハ本場ノ如キハ之ヲ全部整理スルヲ適當ナリト
認ム又演習林ハ兩者ヲ合シ約一〇九〇町歩アリ何レモ國有林ヲ所管換シタルモノ
ナリ而シテ即明神演習林約七九〇町歩ハ林況劣悪ニシテ現存其ノ利用方法ト
シテハ其ノ一部ニ雜木林ノ伐採更新ヲ行フニ過キサルカ如キヲ以テ本林ハ約三分
ノ一ヲ存置スルヲ以テ足ルヘシ滝沢演習林約三〇〇町歩ハ各種樹林ヲ含ミ
林相優良ナルヲ以テ之ヲ存置スルコトハシ即今將來約七〇〇町歩ヲ以テ本校演習林
トシ其ノ他ノ約四〇〇町歩ハ之ヲ整理スヘキモノト認ム

秘

起案罪紙

大正十一年十一月

日起案

起案者
捺印

日發付

發付者
捺印

發付後起
案者捺印

原案罪紙

事務經理局長

勝

局長

局長

局長

局長

局長

大臣

副官

副官

副官

副官

副官

副官

副官

副官

次官

參事官

參事官

參事官

參事官

參事官

參事官

參事官

參事官

參事官

建築本部長

第一課長

第一課長

第一課長

第一課長

第一課長

第一課長

第一課長

第一課長

軍務局長

第一課長

局員

局員

局員

局員

局員

局員

大正十一年十一月二十一日

次官

大藏省臨時國有財産整理部長宛

國有財産畫面送件

監國第廿二號ヲ以テ御申越、佐世保鎮守府

號番

第...

反三反...

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部	受月日	發月日
																12.20

1338

海軍省附用紙

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

奉 寄 部 長 宛

發付後起
案者捺印

受月日 發月日

12.20

部長宛

子府殿

1338

紙用箋附省軍海

大正十五年五月二十日

經理局

海軍省軍務局

機密圖ハ受領シテ之ニ高等官ニ
直接申渡シテ之ニ取計ヲ得度

送達ハ岩手縣知事ニ行ハス可也

本館長宛



〆

1339

番面吉部今用身産既^以面而矣多却
右送舟又

追子佐世保鑛字府一飯番林岩番面之舟取扱上
特之御怪喜息、上御用降次第直之御返却相
成慶申添候

(終)

陸國發第六二號

大正十一年十一月二十一日

國有財産調査會幹事長

臨時國有財産整理部長 鈴木繁

海軍次官 井出謙治 殿

國有財産調査上参考ニ供シ度候條乍御手數佐世保海軍鎮守府一般圖及左記公用財産ノ

配置圖而三部(土地)ニ付テハ所在及坪數建物ニ付テハ所在、建物及延坪ヲ記入シタル

モノ御作製ノ上御送付相成候様致度此段及御依頼候也

追テ軍事上機密ニ屬スルモノニ付テハ調査濟次第返付可致候

第一部長

記

部員

一、佐世保海軍鎮守府衛戍病院

一、同 職員官舎

海軍鎮守府ノ
町内
乙

建築本部

經理局

官房
ノ
又
三
尺
辨

大蔵省

大蔵省

建本
11.11.22
接受

經理
11.11
日



1341

11-22

大正十一年三月五日 起案者 起案者

三月七日 日發付 發付掛 捺印

12.3.9
21
總三
12.3.7

發付後起 案者捺印

大臣閣

次官

經理局長

第一課長

局員

副官

參事官

第一課長

局員

艦政本部 總務部長

第三課長

局員

第二課長

建築本部 第一部長

代

局員

大正十一年三月六日 大臣

以閣總理大臣

官有財産増減目録動向書提出件

官有財産管理規則第十七條之三ノイニ準テ

官房第X116

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
														受月日 發月日

